

■ 調査概要

1. 趣旨・目的

(1) 災害に備えた啓発や情報発信に関する取組について

(担当課：危機管理室 防災課、危機管理課)

国が令和 3 年 9 月に行ったアンケート結果によれば、多くの方にハザードマップ※1 が認知されておらず、有効に活用されていないといった課題が挙げられています。

これらの現状を踏まえ、本市では、市民の方の興味をひくデザインやわかりやすい内容にするなどの工夫を図り、令和 4 年 3 月末にハザードマップと災害種別ごとの情報を掲載した防災マップ※2 を 5 年ぶりにリニューアルしました。

これまでは防災マップを一律に全戸配布し、啓発をしていましたが、リニューアルした防災マップは、市内民間事業者の協力による各民間施設への配架を行い、啓発に取り組むこととしました。また、作成にあたっては、内容の充実、デザインの工夫、わかりやすい表記を重視しました。

あわせて、本市では大雨や台風、地震などによる災害時に、避難所の開設や避難情報の発信を様々な手法で行っています。

今回のアンケートでは、リニューアルした防災マップの啓発、情報に関する効果測定を行い、また、市民の皆様による情報の取得方法についての現状を把握し、よりよい情報発信の方法を検討することを目的に実施するものです。

※1 被災想定区域や避難場所などの位置を表示した地図

※2 災害種別ごとの特徴や避難行動についての情報面と地図面のハザードマップ（※1）を 1 つの冊子にした本市作成のマップ

(2) 上下水道局の取組について

(担当課：上下水道局 経営企画室)

上下水道局では、水需要の減少に伴う収入の減少が見込まれるなか、将来にわたって安全安心なライフラインを守るため、平成 28 年 3 月に「堺市水道ビジョン」「堺市下水道ビジョン（改定版）」を策定し、効果的・効率的な事業運営を進めています。

現在、令和 5 年度から令和 12 年度までの 8 年間で計画期間とし、今後、取り組むべき具体的施策や事業及びそれらのゴール（令和 12 年度達成目標）を取りまとめた「堺市上下水道事業経営戦略」の策定を進めており、利用者に信頼される事業運営をめざします。

また、令和 4 年度は、これまでの市政モニターアンケート結果や令和 2 年度に実施した市民 WEB アンケート結果などを踏まえ、ホームページのリニューアルや SNS での情報発信の強化に取り組んでいます。

今回のアンケートでは、上記の取組の結果、上下水道事業に関する認知度や満足度がどのように変化しているかを確認し、今後の経営戦略や広報広聴体制に反映させるため、実施するものです。

(3) 公共交通について

(担当課：建築都市局 交通部 公共交通担当)

人口減少に伴う通勤・通学利用の減少、運転手などの担い手不足、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う働き方や人の行動変容など新しい生活スタイルの浸透などにより、公共交通を取り巻く環境は厳しい状況にあります。

本市において、地域の社会生活・経済活動に不可欠な公共交通の維持・確保に向けて、現在、市域を対象とした「地域公共交通計画※」の作成に向けた検討を行っています。

今回のアンケートは、公共交通の利用状況や公共交通に対するご意見をお伺いし、今後の「地域公共交通計画」の作成に活用するものです。

※地域公共交通計画とは

住民などの移動ニーズにきめ細かく対応できる立場にある本市が中心となって、交通事業者や地域の関係者などと協議しながら持続可能な地域旅客運送サービスの提供を確保することを目的に策定し「地域にとって望ましい地域旅客運送サービスの姿」を明らかにするものです。

(4) 中百舌鳥駅前北側広場の活性化について

(担当課：建築都市局 都市整備部 中百舌鳥・拠点整備担当)

現在、本市では中百舌鳥駅周辺の活力と多様な交流を育むイノベーション※創出拠点の形成に向けた取組の1つとして、駅前空間の活性化や交通利便性の向上に取り組んでいます。

今回のアンケートでは、都市拠点にふさわしい賑わいや活力を感じられる駅前空間の実現に向けて、駅前広場の使われ方やニーズの把握を目的として、市民の皆様の意識や意見を伺い、今後の取組に活用したいと考えています。

※イノベーションとは

モノや仕組み、サービス、組織、ビジネスモデルなどに新たな考え方や技術を取り入れて新たな価値を生み出し、社会にインパクトのある革新や刷新、変革をもたらす、それらが一般的、普遍的に活用される状態になることです。

(5) 環濠都市堺の再生事業について

(担当課：建築都市局 都心未来創造部 堺駅エリア整備担当)

本市都心部に位置する環濠エリアは、町家や寺社などの歴史的建造物、包丁・線香などの伝統産業、老舗の和菓子店などといった豊かな歴史・文化資源を数多く有しており、堺の繁栄の歴史を感じることができるエリアです。

本市では、このような堺ならではの豊かな歴史・文化資源を活かしながら、『堺グランドデザイン 2040』に示した環濠エリアの将来イメージ実現に向け、都市空間を車中心から人中心へと転換し、「居心地が良く歩きたくなるまちなか」(ウォークアブル)をめざし、取り組んでいます。

また、令和4年度からは、「居心地が良く歩きたくなるまちなか」をめざす取組の一つとして、環濠の水辺や公園、通りなどの公共空間を、人々が集まり、憩い、多様な活動を繰り広げられるような場へと公民連携で転換する取組(公共空間利活用)を行っています。

今回のアンケートでは、現在の環濠エリアのポテンシャルや課題点を把握し、今年度の取組に対する評価と、今後事業を進める上で、参考にすることを目的に実施するものです。

(6) ごみ減量化・リサイクル、適正排出について

(担当課：環境局 環境事業部 環境事業管理課)

地球温暖化などの環境問題や食品ロス、衣服ロスなどの社会問題が深刻化しており、これらの問題には私たちが日常生活で繰り返している「捨てる」ことが影響しています。また、近年本市のごみ減量はあまり進んでいません。そこで、本市ではごみに関わる環境問題の解決及び安定的なごみ処理体制の構築を目的として、令和4年7月から「堺・ごみ減量 4R 大作戦」を実施しています。

今回のアンケートは、市民の皆様のごみ減量・リサイクルに対する意識及び取組状況を調査し、今後の事業実施の基礎資料とするものです。

(7) 里親制度に関する意識調査・広報啓発について

(担当課：子ども青少年局 子ども青少年育成部 子ども家庭課)

今回のアンケートでは、市民の皆様がどれだけ知られているか、また、本市が行う里親制度の広報啓発活動について、市民の皆様の意識や意見を調査し、今後の里親制度の啓発、新規里親開拓の充実に活用したいと考えています。

(8) 広報活動について

(担当課：市長公室 広報戦略部 広報課)

本市では、市民に開かれた市政、市民協働による取組を進めるため、様々な広報活動を行っています。現在、「広報さかい」「市ホームページ」「堺市くらしのガイドブック」「堺市の公式 SNS」などの各種媒体を使って広報活動を行い、広く市民と行政を繋ぐ様々な情報の発信をしています。

今回のアンケートでは、本市の広報活動についての市民の皆様の意識や意見を調査し、今後の広報活動の充実に活用したいと考えています。

2. 調査期間

令和4年12月1日(木)～令和4年12月14日(水)

3. 調査方法

(1) 対象

市内在住・在勤・在学の18歳以上の方で、公募による市政モニター

(2) 人数

496人

(3) 調査方法

インターネットを通じたアンケート回答

(4) 回収率

調査対象者496人に対して、有効回収数466人 回収率94.0%となった。

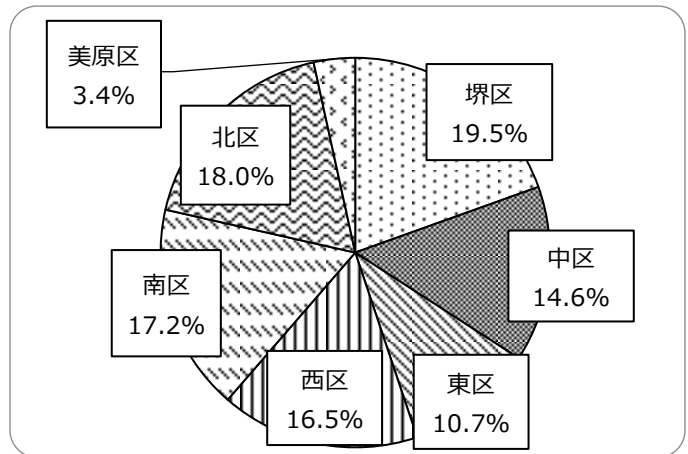
4. 報告書の見方

- (1) 本調査の集計分析対象とした調査票総数は466である。数表中のNは比例算出の基礎となる回答者総数を表している。
- (2) 個々の選択肢比率を合算する場合は、個々の回答数の合計をNで除して百分率を求め、小数点第2位を四捨五入した。このため、個々の比率の合計が100%にならない場合がある。
- (3) アンケートへの回答は、単数回答と複数回答を求めた設問があり、複数回答を求めた設問では、比率の合計が100%を超える。
- (4) 「その他記述」および「自由回答」に関しては、紙面の都合上、主な内容を集約、抜粋して掲載した。

■ 回答者属性

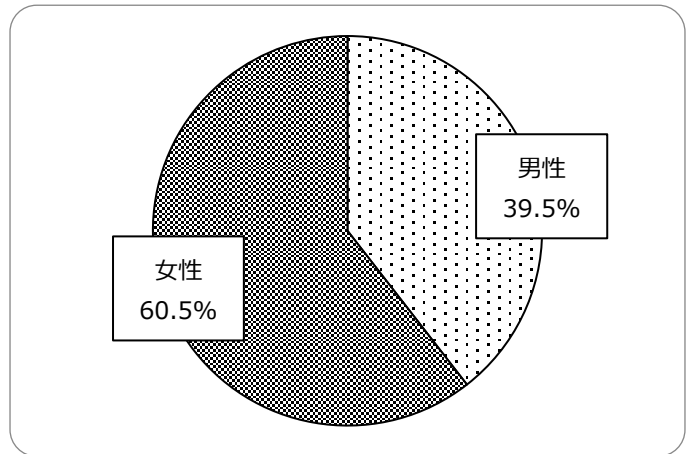
居住区別		回答数	構成比
1	堺区	91	19.5%
2	中区	68	14.6%
3	東区	50	10.7%
4	西区	77	16.5%
5	南区	80	17.2%
6	北区	84	18.0%
7	美原区	16	3.4%
計		466	100.0%

居住区別



性別		回答数	構成比
1	男性	184	39.5%
2	女性	282	60.5%
計		466	100.0%

性別



年齢層別		回答数	構成比
1	18歳以上30歳未満	57	12.2%
2	30歳代	77	16.5%
3	40歳代	119	25.5%
4	50歳代	93	20.0%
5	60歳代	60	12.9%
6	70歳以上	60	12.9%
計		466	100.0%

年齢層別

